

資料室公開と文献一覧

著者	早田 美智子, 佐々木 倫子
雑誌名	国立国語研究所創立50周年記念 研究発表会資料集 : 歩こう日本語の世界を
ページ	163-166
発行年	1998-12-14
URL	http://doi.org/10.15084/00003322

資料室公開と文献一覧

日本語教育指導普及部

早田 美智子

佐々木 倫子

日本語教育センターは、昭和49年（1974年）に国立国語研究所に新たに設置されました。この当時、日本語教育は限られた一部の人々（日本研究者や宣教師、留学生等）に対して行われていたに過ぎず、第二言語としての日本語教育は、その内容を国語教育とはっきり区別するために、「外国人のための日本語教育」と称されていました。しかしこれ以降、昭和58年（1983年）、政府によって発表された「留学生10万人計画」と、特にその後続くバブル時代の日本の経済的発展の影響で急激な変化を見せ、今日では、「日本語教育」の名称も「第二言語としての日本語教育」の意味で定着しています。

一方で日本語の学習者は、この間に今までにない広がりを見せました。以前のように限られたごく少数の人々だけではなく、国内では、就学生、ビジネスマン、インドシナ難民、中国帰国者、ブラジルからの就労者、日本人と結婚した外国人配偶者等々、国外でも研究対象としての日本や日本語ではなく、ビジネスの手段として日本語を学習しようという人々が増加しています。日本語学習者は、その学習目的も環境も大きく異なる範囲に広がっており、したがって、それぞれが必要とする日本語教育の内容も様々です。また、さらなる展開として、日本に定住した人々の子供達が学齢を迎える年齢になるにつれ、子供の母語と日本語の関係、アイデンティティーの問題等が起こってきており、第二世代の言語をどのように考えていくのかも大きな問題となりつつあります。

学習者が必要としている、または学習者の目的に最もあった日本語教育・日本語学習とは何かを追求していく中で、日本語教材も様々な種類のものが作成されてきました。内容的に言えば、読解や文法中心のテキストから、オーディオリング教材、与えられたタスクを実行していく中で日本語を使用し、学習していく課題実行型教材、学習者の自律的学習を支えるコンピュータ教材、学習者別で言えば、母語別、日本語使用環境別、成人向け・児童向け等多様な教材があります。教材の形態も冊子からCD-ROMまで様々です。研究書で言えば、日本語習得理論、日本語教育のコースデザイン・カリキュラム、教師養成や学習者のニーズ分析、教材分析、各国事情等の日本語教育関係図書、さらに異文化コミュニケーションや多文化共生関連文献があり、これらについて述べた論文を掲載した紀要・論集があります。

日本語教育センター資料室では、第二言語としての日本語教育を有効に行うために、これらを資料として収集し、今後の研究・教育の参考資料として提供しうるよう、保存・整備しています。

また、1980年から「日本語教育学会誌・機関誌掲載論文等文献一覧」を作成してきました。これは上記の日本語教育関係論文の索引で、毎年関係各所に冊子の形で配布しています。発行年の前年に発行された紀要や論集所収の日本語教育関係論文にどのようなものがあるか、分野と著者名から調べることができます。またデータベースでは、文字列からさまざまな検索が可能です。

資料室図書とデータベース、及び「日本語教育学会誌・機関誌掲載論文等文献一覧」とそのデータベースを公開します。

1. 日本語教育関係図書

日本語教育関係図書は、表1の分類に従って並べられています。内容的には、①日本語教科書と②日本語教育関係研究書とに二分されます。また、データには検索のために、表2の「内容分類キーワード」の付与を行っています（現在作業中）。

表1

資料室図書分類

【①日本語教科書】

000	教科書	機関別
010	教科書	対象別
011	〃	留学生／研修生等／外国の大学生
012	〃	ビジネスマン
013	〃	児童（高校生含む）
014	〃	母語別
020	教科書	個別技能別
021	〃	読解，文法，文型
022	〃	発音，聴解
023	〃	語彙，表記
024	〃	作文
030	副教材等	
031	〃	日本事情，文化
032	〃	専門教科
033	〃	具体的学習活動等
040	その他	
041	〃	試験対策

A 録音録画教材 ビデオ教材，カセット教材，カード，CD等

【②日本語教育関係研究書】

070	研究一般	音声音韻，語彙，文字表記，文法，談話，その他
071	シリーズ	シリーズ，論集等
072	個別技能	会話，聴解，読解，作文等
073	習得評価	第二言語教育，誤用，試験等
074	対象別	中国帰国者，難民，児童，ビジネスマン等
075	教授法	コースデザイン，カリキュラム，教室活動，教授内容等
076	教材研究	視聴覚教材，CAI，教材研究，メディア等
077	史的研究	日本語教育史，戦時中の日本語教育等
078	教師・学習者	教師，学習者，教員養成，教育実習等
079	機関各国報告	機関事情，各国事情，地域事情，ボランティア活動報告等
080	日本語教育政策	留学生政策等
081	シンポジウム等	予稿集，会議録等
082	日本語教育事典	
083	関係者機関一覧	
084	異文化	異文化間コミュニケーション，バイリンガリズム等
085	日本事情	日本文化，日本経済，日本の生活案内等
086	日本研究	各国における日本研究
087	入学案内	大学入学案内，大学院入学案内，受験対策等
090	海外子女教育	海外子女教育，帰国子女教育

表 2

教科書内容分類 (データベースキーワード)	
1. 【総合】	シリーズ教科書、総合教科書
2. 【文法】	文法解説、文型
3. 【文字学習】	ひらがな、カタカナ、漢字
4. 【語彙】	生活語彙、ビジネス用語、方言、敬語
5. 【会話】	会話
6. 【聴解】	ききとり
7. 【読解】	読解
8. 【作文】	作文
9. 【問題集】	ワークブック
10. 【教師用指導書】	
11. 【日本事情】	日本文化、日常生活、社会
12. 【教科教育】	専門分野
13. 【ビデオ】	視聴覚教材、C A I、スクリプト
14. 【カセットテープ】	
15. 【CD-ROM】	
16. 【カード】	
17. 【その他】	その他の副教材

以下は記載のある場合のみ。

【レベル】	【対象】	【表記】
入門	留学生就学生	かな(カタカナ含)
初級	技術研修生(含技能実習生)	漢字かな
初中級	就労者	ローマ字
中級	ビジネスマン	〇〇語
上級	児童	

2. 文献一覧

「日本語教育学会誌・機関誌掲載論文等文献一覧(以下文献一覧)」は、1980年に初めて発行されました。「文献一覧 1991」(1991年発行)までは、創刊時より前年の12月末日までに刊行された論文の累積になっています。論文数の増加に伴って「1992年版」からは、前年1年間に刊行された学会誌・機関誌に掲載された日本語教育関係論文を1年ごとに採録することとし、それぞれの論文を分野ごとにまとめました。したがって、創刊時より1990年12月末日までに掲載された関係論文の全ては「文献一覧 1991」に採録されており、1991年以降に掲載された論文はそれぞれ、翌年発行の「文献一覧」に一括される形となっています。なお、現在1980年から1996年の間に発行の学会誌、機関誌に掲載された論文がデータベース化されています。

また、インターネットホームページでも「日本語教育文献索引検索」として公開されており、文献名及び著者名からの検索が可能です。

(アドレス 日本語教育指導普及部 <http://www.fukyubu1.kokken.go.jp>

又は、 国立国語研究所 <http://www.kokken.go.jp> の「活動」より指導普及部へ)

「文献一覧 1991」 = 創刊時～1990年12月発行の学会誌・機関誌掲載論文を採録

「文献一覧 1992」 = 1991年1月～12月発行の学会誌・機関誌掲載論文を採録

「文献一覧 1998」 = 1997年1月～12月発行の学会誌・機関誌掲載論文を採録（年内発行予定）

「文献一覧」分野

言語学他

- 0 1 言語学／日本語学／国語学
- 0 2 社会言語学／コミュニケーション／語用論／非言語伝達／方言研究
- 0 3 対照研究／異文化コミュニケーション／外国語
- 0 4 認知科学／心理言語学／情報科学
- 0 5 史的研究／文学研究／その他の研究分野

言語要素

- 0 6 音声／音韻
- 0 7 形態／語彙／意味
- 0 8 構文／文法／文単位分析
- 0 9 文字／表記
- 1 0 談話／機能／文章／文体

言語教育

- 1 1 言語習得／言語能力／中間言語／誤用分析／評価
- 1 2 個別言語技能
- 1 3 教授法／教育技術／コースデザイン／教室活動
- 1 4 教材／C A I／教具
- 1 5 学習者／学習心理／教師／教員養成
- 1 6 機関／文化研修／各国事情／教育事情
- 1 7 その他、教育史的研究など